

⑫ 公開特許公報(A) 平4-178313

⑬ Int. Cl.⁵

A 61 K 7/00

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成4年(1992)6月25日

B 9051-4C
 C 9051-4C
 D 9051-4C
 Y 9051-4C
 8413-4C
 8413-4C

31/045
 31/22

ADA

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑮ 発明の名称 皮膚保護用クリームの製造方法

⑯ 特 願 平2-306542

⑰ 出 願 平2(1990)11月13日

⑱ 発 明 者 横 山 記 代 子 東京都田無市芝久保2-17-619

⑲ 発 明 者 小 柳 園 東京都豊島区池袋1-7-21 三和社内

⑳ 出 願 人 清 水 亮 雄 東京都豊島区池袋1-7-21 三和社内

明 細 書

1. 発 明 の 名 称

皮膚保護用クリームの製造方法

2. 特 許 請 求 の 範 囲

- (1) 水素イオン、カリウムイオン、ナトリウムイオン、アンモニウムイオン、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、フェロイオン、マンガニオン、アルミニウムイオン、銅イオン、ヒドロ硫酸イオン、遊離硫酸イオン、メタ珪酸、クロールイオン、亜鉛イオン、弗素イオン、燐酸イオン、酵素イオン、ヒドロ硫酸イオン、水硫酸イオン、チオ硫酸イオン、を混合した液体に、酢酸エステル、アラントイン、セタノール、パラベン、プロピレングリコール等を配合攪拌して練状にしたことを特徴とする皮膚保護用クリームの製造方法。

3. 発 明 の 詳 細 な 説 明

(産業上の利用分野)

本発明は、人体の皮膚に塗ることによってニキビ、小ジワ、肌荒れ、カミソリ負け、水虫、日焼け等の皮膚障害を元の状態に戻す皮膚保護用クリームの製造方法に関するものである。

(従来の技術)

従来、肌に塗るクリームには美容の為に塗る場合と、皮膚に障害疾患を起した時に塗る場合の二通りに大別される。

即ち、肌の美容に使用するものとして、美肌用クリーム、日焼止めクリーム、髭剃後用クリーム、洗顔用クリーム等があり、皮膚の疾患用クリームとしては、やけど用クリーム、すり傷、切傷用クリーム、殺菌用クリーム等が提供されている。

(発明が解決しようとする課題)

しかし、このように用途に従って使用するクリームは、それぞれ目的に適合するものを選択しなければならなかった。

即ち、美容に必要な場合は化粧用クリームを、皮膚の疾患には薬用クリームを使用しなければならなかった。

又、皮膚の疾患にはいろいろあり、誤ったクリームを使用すると、重大な事故につながる恐れがある。

本発明によって製造される皮膚保護用クリームは、皮膚の疾患は勿論、患部の消毒、殺菌、治療に効果を発揮するもので、肌の老廃物や汚れを除き、ニキビ、吹出物、水虫等をおさえ、健康な肌を保つことを目的とするものである。

(課題を解決するための手段)

上記目的を達成するために本発明の皮膚保護用クリームは、水素イオン、カリウムイオン、ナトリウムイオン、アンモニウムイオン、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、フェロイオン、マンガニオン、アルミニウムイオン、銅イオン、ヒドロ硫酸イオン、遊離硫酸イオン、メタ硫酸、クロールイオン、亜鉛イオン、弗素イオン、燐酸イオン、酵素イオン、ヒドロ砒酸イオン、水硫イオン、チオ硫酸イオンを混合した液体に、酢酸エステル、アラントイン、セタノール、パラベン、プロピレングリコール等を配合して攪拌し、練状

にしたものである。

(作用)

上記のような方法によって製造された皮膚保護用クリームを実際に使用する場合は次のようになる。

肌の美容に使用する場合は掌に必要な量のクリームをのせ、掌全体に広げた後、掌で肌全面を撫でるように軽くマッサージする。

皮膚疾患に使用する場合は、指先にクリームをつけ、このクリームを患部に塗った後、患部を軽くマッサージする。

(実施例)

以下本考案の実施態様を説明する。

本考案の製造方法によって製造された皮膚保護用クリームは、+イオンと-イオンが存在する有効性の天然イオンが働くので皮膚に塗った場合、-イオンが皮膚の薄膜を通じて浸透し、血液中の白血球の活動を活発化し、+イオンは皮膚の上に残って消毒と殺菌の働きをする。

従って本発明によるクリームは前記水素イオン

、カリウムイオン等、22種のイオンを含む岩石からイオンを吸収し、酢酸エステル、アラントイン、プロピレングリコール等を配合して練状にしたので、各種の皮膚病の患部に塗ると、消毒、殺菌の働きもあって肌に無理なく作用し、皮膚の細胞の新陳代謝を促進するので疾患は短時間で治癒するばかりでなく、小ジワを防ぐ働きをする。

又、メラニン色素を脱色拡散する働きをするのでシミ、ソバカスに塗るとシミ、ソバカスが目立たなくなる。

更に本発明のクリームは細胞の新陳代謝を高めることによって皮膚の表面体液を充満させるので血色のよい張りのある肌を保つために必要な働きをするクリームである。

(発明の効果)

本発明は以上のように構成したので、実際に使用すると、ニキビ、小ジワ、荒れ性の肌、カミソリ負け等は勿論、水虫にも多大の効果があるばかりでなく、消毒、殺菌等の効果もあり、副作用のない優れた皮膚保護用クリームである。

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

Citation 1^o

(11)Publication number : 04-178313

(43)Date of publication of application : 25.06.1992

(51)Int.Cl.

A61K 7/00
A61K 31/045
A61K 31/22

(21)Application number : 02-306542

(71)Applicant : SHIMIZU AKIO

(22)Date of filing : 13.11.1990

(72)Inventor : YOKOYAMA KIYOKO
KOYANAGI SONO

(54) PRODUCTION OF SKIN-PROTECTION CREAM

(57)Abstract:

PURPOSE: To obtain the subject cream effective to pimple, wrinkle, athlete's foot, etc., and free from side effect by compounding a specific compound such as an acetic acid ester to a liquid containing 22 kinds of specific ions such as hydrogen ion and potassium ion and kneading the components to form a paste.

CONSTITUTION: The objective skin-protection cream remarkably effective even to athlete's foot in addition to pimple, wrinkle, chapped skin, barber's itch, etc., exhibiting the effects of disinfection, sterilization, etc., and free from side effect can be produced by mixing (A) an acetic acid ester, allantoin, cetanol, paraben, propylene glycol, etc., to (B) a liquid mixed with hydrogen ion, potassium ion, sodium ion, ammonium ion, calcium ion, magnesium ion, ferrous ion, manganese ion, aluminum ion, copper ion, hydrosulfate ion, free sulfate ion, metasilicate ion, chloride ion, zinc ion, fluoride ion, phosphate ion, enzyme ion, hydroarsenate ion, hydrosulfide ion and thiosulfate ion and kneading the mixture in the form of a paste.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C), 1998,2003 Japan Patent Office

BEST AVAILABLE COPY